学校番号	２１０

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	３ROUND 数学Ⅱ＋Ｂ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- この授業では、これまで学習してきた内容を活用しながら新たな内容に取り組みます。
- これまで学習したことが、どのようにつながっているかという流れをつかみながら、学習すると理解しやすいです。
- 教科書の例題を丁寧に解説し、問題演習などを通して反復練習を行う。

2　学習の到達目標

(1) 数列、統計的な推測の基本事項について理解する。
(2) 基礎的知識の習得と技能の習熟をはかり，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす。
(3) 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列、統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 数列、統計的な推測において事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数列、統計的な推測において、事象を数学的に考察し、表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力・判断力・表現力を身に付けている。	数列、統計的な推測における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数列	等差数列と等比数列 ・数列 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和	a: 等差数列・等比数列の一般項とその和を求めることができる。 b: 数列の一般項の必要性と意味を理解することができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出 問題集提出 学習態度

			c: 数列について関心をもち、身近な問題の解決に数列を活用しようとする。			
	いろいろな数列	いろいろな数列 ・和の記号Σ ・自然数の2乗の和 ・いろいろな数列の和 ・階差数列	a: 階差数列の一般項を求め、その和を求めることができる。 b: 和の記号Σを活用することにより種々の数列を簡単に表すことができる。 c: 和の記号Σについて関心をもち、身近な問題の解決に活用しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出 問題集提出 学習態度
2学期	漸化式	漸化式 ・漸化式と一般項 ・数学的帰納法	a: 数学的帰納法の意味を理解し、簡単な証明をすることができる。 b: 等差数列、等比数列を漸化式で表すことができる。 c: 漸化式や数学的帰納法について関心をもち、身近な問題の解決に活用しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出 問題集提出 学習態度
	確率分布	確率分布 ・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値 ・分散と標準偏差 ・二項分布 ・二項分布と期待値,分散,標準偏差	a:期待値や分散の意味を理解し、正しくそれらの値を求めることができる。 b:与えられた現象を数学的に捉え、確率分布を求めることができる。 C:確率分布の考え方に興味を持ち、身近な問題の解決に活用しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出 問題集提出 学習態度
3学期	正規分布	正規分布 ・連続型確率変数 ・正規分布 ・二項分布の正規分布による近似	a:確率密度関数から確率を正しく求めることができる。 b:正規分布と二項分布の関係について考察することができる。 c:正規分布に従う確率変数に関心をもち、そのときの種々の確率を求めようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出 問題集提出 学習態度

	統計的な推測	統計的な推測 ・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・母平均の推定 ・母比率の推定 ・仮説検定	a:母平均、母分散、母標準偏差を正しく求めることができる。 b:仮説検定の手順について、その考え方を正しく理解することができる。 c:標本調査を利用して、全体を推測しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出 問題集提出 学習態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度